

株式会社日本触媒

2015年3月期決算説明会



2015年5月13日



日本触媒

長期経営計画

「新生日本触媒2020」の進捗状況と 2015年度業績見通しについて



代表取締役社長
池田全徳

目次

1. 長期経営計画「新生日本触媒2020」概要
2. 2014年度 業績
3. 個別事業動向
4. 2015年度 業績見通し
5. 経営計画 進捗
6. 利益還元策
7. 単元株式数の変更、株式併合

用語解説

SAP： 高吸水性樹脂
AA： アクリル酸
AES： アクリル酸エステル類
EO： 酸化エチレン

1. 長期経営計画「新生日本触媒2020」概要

2020年のあるべき姿

	売上高	経常利益	ROA	新規製品売上高*
2020年度 長期目標：	5,000億円	500億円	9.5%	470億円
2016年度 中期目標：	3,930億円	340億円	8.5%	290億円

基本指針と事業戦略の方向性

基本指針

- ◇安全・安定な生産活動
- ◇売上よりも収益性を重視

事業戦略の方向性

- ◇既存事業・コア製品の
一層の強化
- ◇新規事業の早期立ち上げ、
新製品の速やかな上市

*新規製品売上高：上市から5年以内の製品売上高の合計

2. 2014年度 業績

(単位：億円)	2013年度 実績	2014年度 実績
売上高	3,021	3,749
営業利益	138	261
経常利益	166	299
当期純利益	105	191
ROA (総資産経常利益率)	4.4%	7.3%
ROE (自己資本当期純利益率)	4.7%	7.6%

為替レート
国産ナフサ価格

US\$ = 100.21円、EUR = 134.33円
67,300円/kL

US\$ = 109.88円、EUR = 138.68円
63,500円/kL

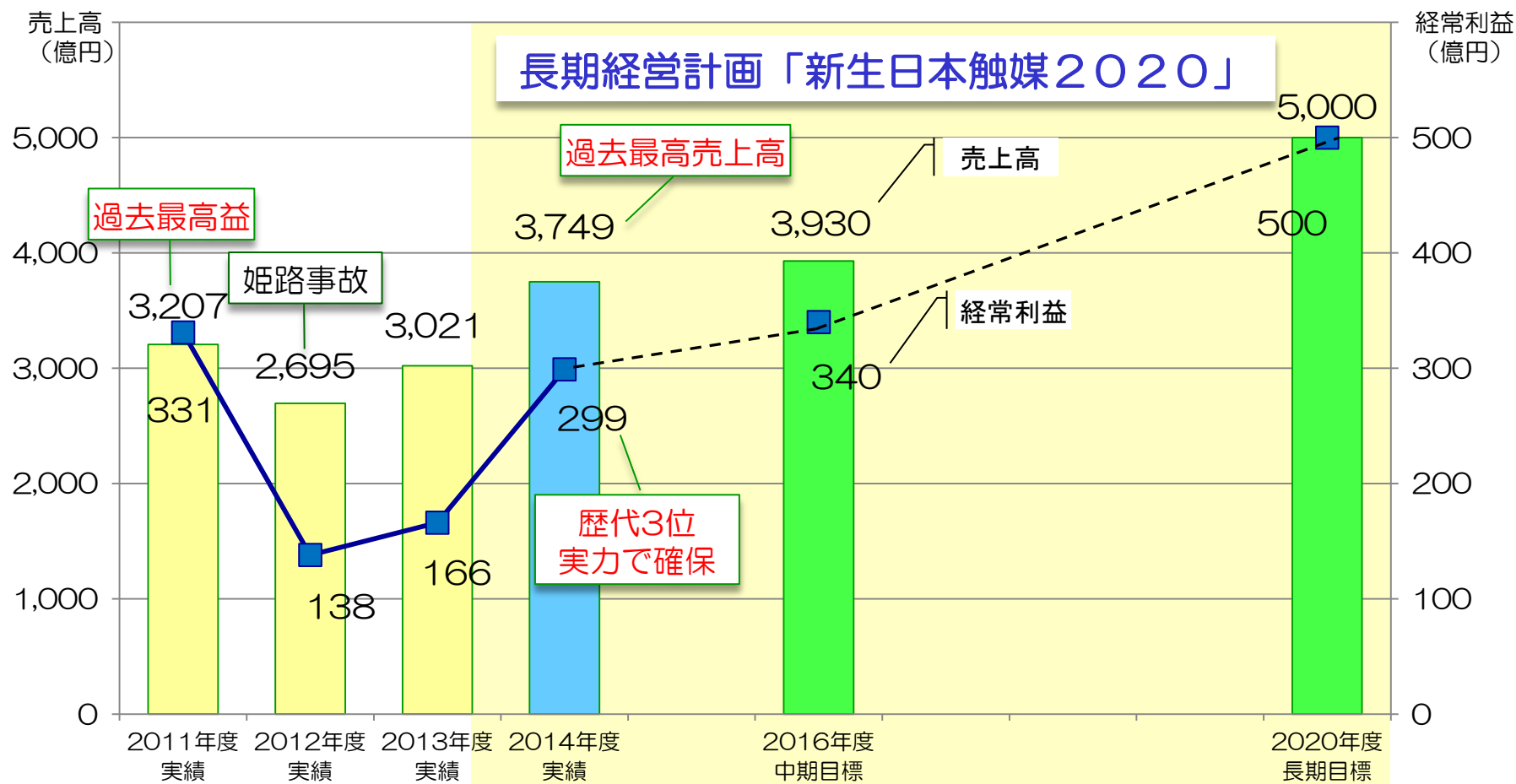
増収増益

- ・ 事故後の順調な回復による販売**数量**の**増大**
- ・ 原料安の中、適正な**スプレッド**の**確保**

2014年度

- ・ 経営計画初年度として**順調なスタート**
- ・ 事故からの**回復**を果たす

2. 2014年度業績



中期および長期目標前提条件：
 国産ナフサ価格 65,000円/kl, US\$=100円、EUR=130円

3. 個別事業動向

1) AA/SAP

AA：需給動向

需要 世界需要 約480万トン（2014年推定）
中期的に年率5%程度の成長を想定

供給 2014-5年に中国を中心に大幅な能力増強計画（需給は軟化を想定）
増設計画 世界合計： 200万トン弱/年
うち中国ローカル： 130万トン強/年

当期の進捗

設備稼働状況： 各拠点高稼働
姫路 AA 8万トン/年、順調に高稼働中

安全、安定操業の追求：

- ・策定した設備安全対策を確実に実施、継続中
- ・AA/AES生産設備の安全対策を、国内・海外グループ会社に水平展開中



AA プラント

3. 個別事業動向

1) AA/SAP

SAP：需給動向

需要 世界需要 約215万トン（2014年推定）
中期的には年率6～7%の成長を想定

供給 既存大手以外の新興メーカーも参入・増強を計画
 2014年 増設世界合計 20万トン弱/年
 2015年 増設計画世界合計 20万トン強/年（中国ローカル除く）

当期の進捗

設備稼働状況 各拠点高稼働

顧客層の充実/多様化の更なる加速

2016年6月：姫路 SAP 5万トン/年 建設中

- ・ 1系列当りの能力アップ実証
- ・ 生産性向上の最新技術を立証



SAPプラント

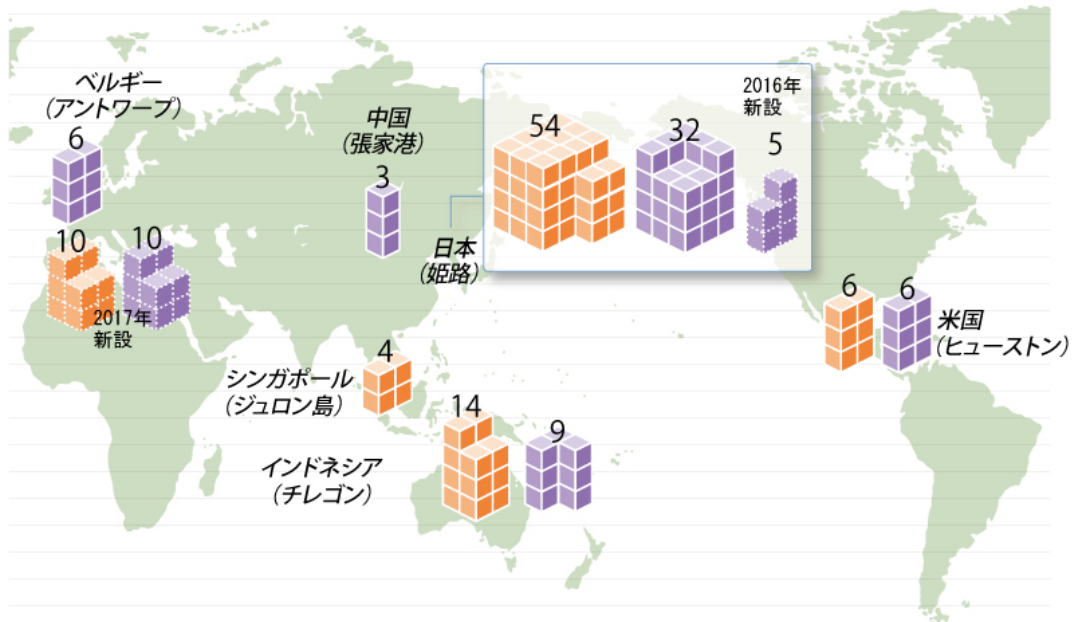
3. 個別事業動向

1) AA/SAP

長期経営計画における事業基本戦略

- ◆ 高吸水性樹脂は世界トップレベルのシェア及び技術を堅持
- ◆ アクリルモノマー事業もトップを走るグローバルプレーヤーを目指す
- ◆ 持続的成長及びグローバル展開を可能とする競争力を維持・強化

欧ベルギー AA10万トン/年新設、SAP10万トン/年増設決定



増設計画の進捗

生産能力<計画確定分>

単位：万トン/年

	現状	計画	合計
AA	78	10 2017年10月 完工(ベルギー)	88
SAP	56	5+10 2016年6月 完工(姫路) 2017年10月 完工(ベルギー)	71

市場成長に応じ、今後も増設を進める

■ アクリル被設備
■ 高吸水性樹脂設備
■ 同(計画中)
■ 同(計画中)

AA/SAP 世界展開状況

数字は生産能力(万トン/年)

3. 個別事業動向

2) EO

長期経営計画における事業基本戦略

- ◆ 選択と集中、成長市場への進出により事業基盤を強化し、今後ともコア事業として安定したキャッシュフローを創出する

当期の進捗

高級アルコールエトキシレート（ソフタノール[®]）：界面活性剤

- ①高い浸透力 ②低粘度による扱い易さ ③良好な生分解性
⇒ 家庭用液体洗剤向けに需要拡大

増設、海外展開 ⇒ 詳細検討中、今期中に方針決定

水溶性ポリマー（アクアリック[®]）：洗剤ビルダー

家庭用液体洗剤向けに需要拡大

開発に注力 ⇒ 順次採用決定中



洗剤

3. 個別事業動向

3) 機能性化学品

長期経営計画における事業基本戦略

- ◆ ワールドワイドでトップサプライヤーとしての地位を確立
- ◆ 独自製品・技術による市場開拓と成長市場への参入
- ◆ 自社原料をベースとした世界に通じる高機能化学品群の拡充により収益面での一つの柱に育成

当期の進捗

光学材料用アクリル樹脂（アクリビュア[®]）

耐熱性・透明性に優れ需要・販売拡大
3,000トン/年プラント建設中
2016年春、合計 9,000トン/年に

N-フェニルマレイミド<PMI>：樹脂耐熱性向上剤

競争激化の中、販売拡大注力中

アクリル酸特殊エステル：塗料用原料

自動車用塗料で需要拡大、販売拡大注力中



アクリビュアプラント

3. 個別事業動向

4) 新エネルギー・触媒

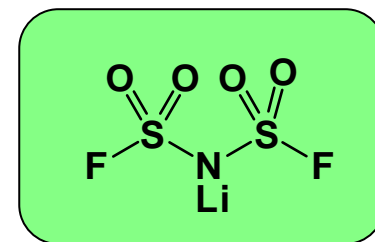
長期経営計画における事業基本戦略

- ◆ 新エネルギー関連材料分野を次世代事業の柱の一つとする
- ◆ クリーンエネルギー分野のスペシャリティ材料市場で業界標準となる技術・製品の開発と市場開拓の加速

当期の進捗

リチウムビスフルオロスルホニルイミド<LiFSI> (イオネル[®])

リチウムイオン電池用の高性能電解質、長寿命化添加剤
販売拡大中、自動車電池用評価も本格化



固体電解質ポリマー<ICP：イオンコンダクティブポリマー>

電気自動車、定置用のリチウムポリマー電池材料
販売拡大に向けて、次世代品も開発中



LiFSI

3. 個別事業動向

5) 新規事業・開発品

新規事業

- ◆ 新たな事業ドメインとして健康・医療分野への**参入準備中**
- ◆ **戦略投資**の活用

開発品

ジルコニアナノ粒子分散液（ジルコスター®）

有機溶媒／樹脂に対する分散能に優れ、
高濃度でも透明性を維持する屈折率調整剤
ディスプレイの高画質化・省電力化に貢献

→ **試験販売開始**

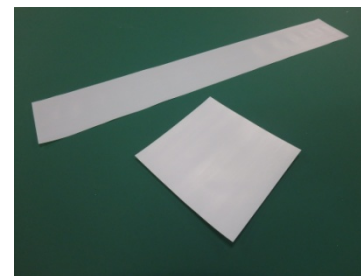


ジルコニアナノ粒子分散液

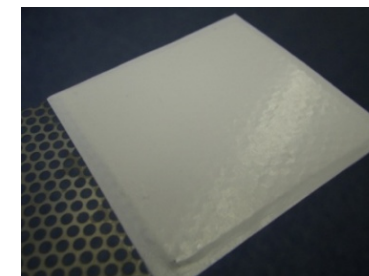
イオン導電性フィルム及び一体型亜鉛電極

安全・安価な亜鉛二次電池の新規なセパレータ部材と
それを用いた一体型亜鉛電極を開発

→ **寿命を10倍以上改善**



イオン伝導性フィルム



一体型亜鉛電極

4. 2015年度 業績見通し

(単位：億円)	2014年度 実績	2015年度 計画
売上高	3,749	3,600
営業利益	261	310
経常利益	299	320
当期純利益	191	225
ROA (総資産経常利益率)	7.3%	7.5%
ROE (自己資本当期純利益率)	7.6%	8.2%

為替レート
国産ナフサ価格

US\$ = 109.88円、EUR = 138.68円
63,500円/kL

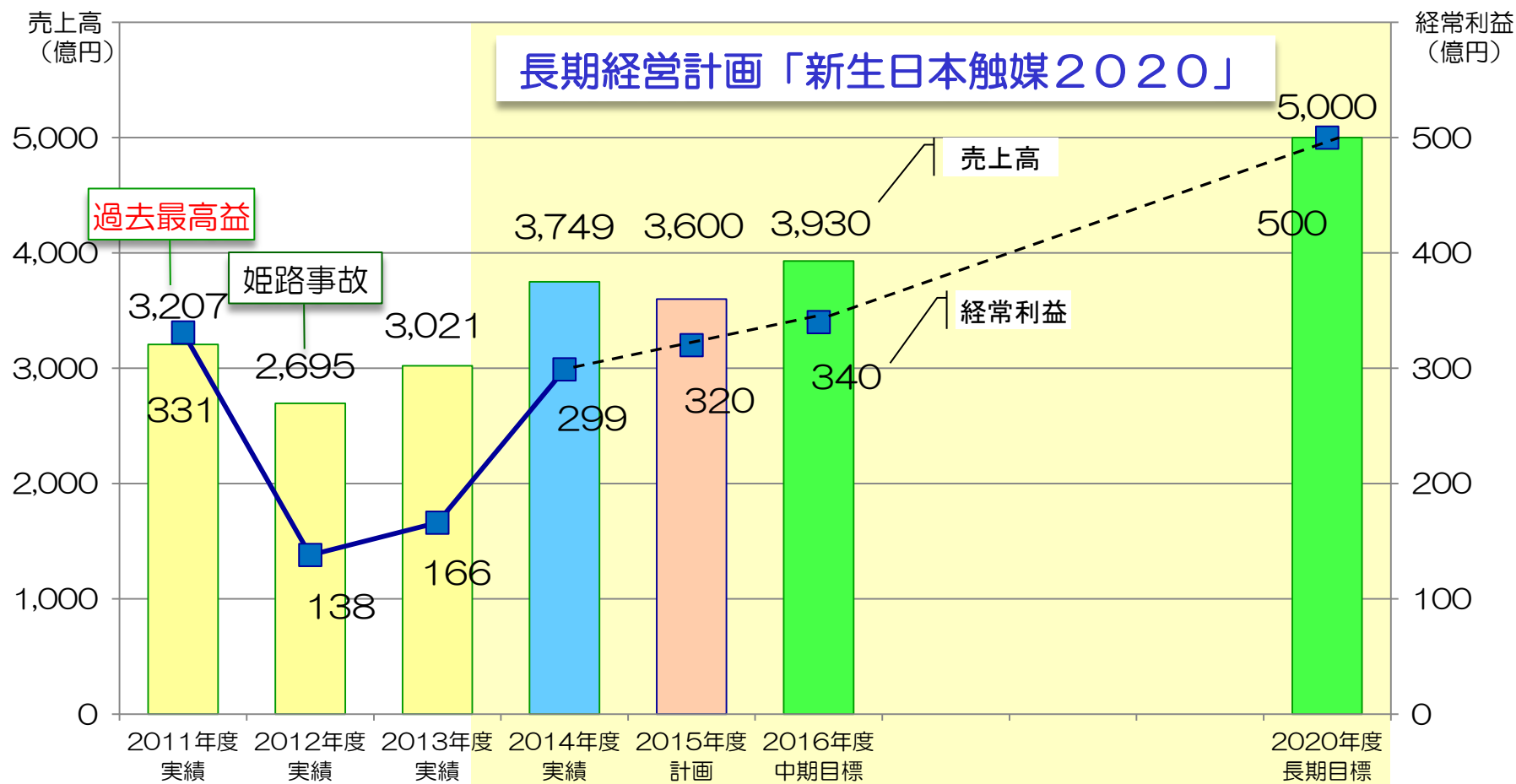
US\$ = 115円、EUR = 130円
50,000円/kL

前半中計達成へ向け、必達の計画

計画達成へ向けて

- ・ **安全**安定な生産活動
- ・ 販売**数量**の確実な**増大**
- ・ 適正な**スプレッド**の**確保**
- ・ 全社連携による**新規製品の速やかな上市**
- ・ **収益改善**活動の継続
- ・ 原料等安価調達、物流コスト・経費削減

5. 経営計画 進捗



中期および長期目標前提条件：
 国産ナフサ価格 65,000円/kl, US\$=100円、EUR=130円

6. 利益還元策

＜基本方針＞

事業拡大や企業体質の強化等を総合的に勘案しつつ、
連結業績の動向を見通し、中長期的水準の向上を目指した配当を行う

2014年度配当
当期純利益 191億円

24円/株

過去最高の配当額

前年度に対し**8円/株の大幅増配**

円/株	中間	期末	合計
普通配当	11	13	24

2015年度配当（予想）
当期純利益 225億円

26円/株

過去最高額を更新

前年度に対し**2円/株の連続増配**

円/株	中間	期末	合計
普通配当	13	13	26

	2014年度＜増額＞	2015年度（予想）	2012～14年度平均
配当性向	25.5%	23.5%	29.9%

7. 単元株式数の変更、株式併合

1. 単元株式数の変更

普通株式の単元株式数を 1,000株から 100株に変更

2. 株式併合

普通株式 5株につき 1株の割合をもって併合

発行済株式総数： 2億4百万株 ⇒ 4千80万株

3. 発行可能株式総数

6億3千6百万株 ⇒ 1億2千7百20万株

※上記効力発生日： 2015年10月1日

※定時株主総会にて承認されることが前提

当社株式の投資単位は、従前に比して2分の1の水準となります。

※詳細は、単元株式数の変更、株式併合および定款一部変更に関するお知らせをご覧ください。

おことわり

本資料は、投資判断の参考となる情報提供を目的としているものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。また、記載されている内容は、資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した内容を含んでおり、記載された内容を確認したり、保証するものではありません。

実際の業績は、様々な要因により、異なる結果となる場合があります。

お問合せ先：

株式会社日本触媒 | IR・広報部

東京都千代田区内幸町1-2-2 日比谷ダイビル

TEL： 03-3506-7605

FAX： 03-3506-7598

URL： <http://www.shokubai.co.jp>